様式３(2015.06改)

作成日　平成29年3月31日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100367
事業所名	グループホーム野のユリ

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	ホームに対して、地域の大きな支援がある。 毎週の「ピラティス」、毎月の「ギター演奏」、隔月の「書道教室」や「民謡」等、有償、無償のボランティアの来訪が多い。 近所の農家からは新鮮な季節の野菜の差入れが届く。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	3月実施予定の運営推進会議が4月に延期となったが、ほぼ2ヶ月毎の会議が開催されている。 職員による利用者への不適切事案はあったが、毎回の運営推進会議でその後の改善の取り組みを報告している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	利用者の権利擁護に関わる不適切事案の発生により、市･高齢福祉課の管理の下に改善を進めてきた。 6ヶ月間の市による指導･監督期間を終え、ホームは落ち着きを取り戻している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	不幸な事件にも、即座に家族会を開いて詳細を説明する等、ホームの対応が迅速であった。 それ故、家族の動揺は少なく、ホームに対して好意的な意見が多く、ホームの呼びかけに対して運営推進会議や家族会への参加も多い。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	×	○			